

第 8 回「スポーツ障害」講習会参加報告

9月11日(日)名古屋医健スポーツ専門学校にて、(一社)愛知県鍼灸師会主催の第8回「スポーツ障害」講習会が開催されました。

第1部

小森田昭浩先生による「腰痛のスポーツ傷害」についての解説をしていただきました。

我々、鍼灸師が最も多く臨床にあたる「腰痛」に関して、原因・種類・注意点などを講義していただいた後、腰痛の鑑別テスト、急性期と回復期での鍼灸治療、回復期におけるストレッチをきめ細かく解説しながらデモンストレーションしていただきました。

アスリートに限らず、毎日、来院される患者さんにも利用できる治療・ストレッチを修得でき、明日からの糧になる講義でした。



第2部

ホワイトテープとファンクショナルテープを用いて二人一組で腰のテーピング実技を練習しました。



第3部

「頸部障害における経絡治療」と題し、

本会会員の土屋二郎先生の実技を交えた解りやすい講義でした。

小川晴通先生の杏林堂で何年間に渡り修行した「経絡治療」を指標に、「私の経絡治療」を施し、「人体の気血の流れを整えて、自然治癒力を良く発揮できるようにする」と思って、毎日、臨床にあたってみえる土屋二郎先生です。

頸部障害における治療は、問診・頸椎圧迫テストから首の回旋・左右屈曲・前後屈曲を行い疼痛に出現・左右差を確認して記載後、治療をします。

治療は、本治療法として、虚している経絡を補してから、標治療法として反応している経穴・経絡に単刺・散鍼した後、肘にある小川点に皮内鍼を施して治療効果の持続をねらいます。



第4部

長谷川会長と廣畑保険部長による、保険取扱い研修会が催されました。

長谷川会長より、これからは医師に信頼され、信頼に応えられる鍼灸師でないと先がないと言われました。

それには、「治療計画書」「経過報告書」は必需であり、医師への「同意書」を依頼するときには、社会人の常識として「依頼書」「礼状」が必要であるという講義でした。

医師に提出する各種書類のひな型を作成しており、メール配信するので活用して欲しいとのことでした。廣畑保険部長からは、正確適正なレセプトを提出するための最新情報を含めた解説と、保険取扱い会員からの質疑応答がありました。



総務部 池田達